

服用に際しては、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

神経性胃炎・慢性胃炎に

太田漢方胃腸薬Ⅱ〈錠剤〉第2類医薬品

あんちゅうさん かぶくりょう
— 安中散加茯苓製剤 —

特 徴

太田漢方胃腸薬Ⅱ〈錠剤〉は、ストレスなどの原因により自律神経が乱れることによって起こる、神経性胃炎や慢性胃炎を改善する胃腸薬で、ストレスの多い現代社会に適しております。漢方処方[®]の安中散にブクリョウ(茯苓)^{*}を加えることによって、効きめを強化しました。また、胃腸虚弱にもすぐれた効果をあらわします。小粒でのみやすい錠剤です。

※ブクリョウ(茯苓):サルノコシカケ科に属し、主として松の根に発生する菌体です。

⚠ 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

- 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能・効果

体力中等度以下で、腹部は力がなくて、神経過敏で胃痛又は腹痛があって、ときに胸やけや、げっぷ、胃もたれ、食欲不振、はきけ、嘔吐などを伴うものの次の諸症：

神経性胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱

神経性胃炎とは・・・

飲みすぎや食べすぎでもないのに胃の調子がおかしいという時は、ストレスによる場合が多いようです。ストレスが自律神経の失調をおこし、胃の働きが異常となり、胃痛、食欲不振、はきけなどの症状としてあらわれます。これを神経性胃炎といいます。

裏面に続きます

用法・用量

次の量を食間(就寝前を含む)又は空腹時に服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	3錠	3回
7~14歳	2錠	
7歳未満	服用しないこと	

※ 食間とは食後2~3時間のことをいいます。

＜用法・用量に関連する注意＞

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分 1日量(9錠)中

安中散加茯苓末……………2,100mg

〔下記生薬の混合末〕	
ブクリョウ(茯苓)	500 mg
ケイヒ(桂皮)	300 mg
エンゴサク(延胡索)	300 mg
ボレイ(牡蛎)	300 mg
ウイキョウ(茴香)	200 mg
シュクシャ(縮砂)	200 mg
カンゾウ(甘草)	200 mg
リョウキョウ(良姜)	100 mg

安中散料加茯苓エキス……………270mg

〔下記生薬のエキス〕	
ブクリョウ(茯苓)	810 mg
ケイヒ(桂皮)	486 mg
エンゴサク(延胡索)	486 mg
ボレイ(牡蛎)	486 mg
ウイキョウ(茴香)	324 mg
シュクシャ(縮砂)	324 mg
カンゾウ(甘草)	324 mg
リョウキョウ(良姜)	162 mg

〔添加物〕ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロタルサイト、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mg、セルロース

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

日常生活でのご注意

上手に気分転換をして、
ストレスの解消を
心がけましょう。

暴飲・暴食をさけ、
嗜好品のとり過ぎに
注意しましょう。

十分な休養をとり、
規則的な生活を
心がけましょう。

- ・ 太田漢方胃腸薬Ⅱ(錠剤)の他に、溶けやすくのみやすい散剤タイプの太田漢方胃腸薬Ⅱもあります。
- ・ この他、下記の姉妹品があります。目的に合わせてご利用ください。
飲みすぎ・胸やけ・胃の不快感に太田胃散(缶)、携帯に便利な太田胃散(分包)
胃のもたれ・食べすぎに小粒でのみやすい太田胃散A(錠剤)

製品のお問い合わせ先

株式会社 太田胃散「お客様相談室」
☎ (03) 3944-1311 (代表)
受付時間 9:30~17:00 (土、日、祝日を除く)



製造販売元

株式会社 太田胃散
東京都文京区千石2-3-2
<http://www.ohta-isan.co.jp/>